

第2回北海道食の安全・安心委員会への意見提出

委員名 藤井 幸一

北海道食品ロス削減推進計画(仮称)素案について

本日は出張のため欠席します。申し訳ありません。少しばかり意見を提出させていただきます。

資料を拝見しました。内容的には問題ないと思います。数値目標も達成したい内容となっています。

しかし、資料の中でありましたとおり、北海道は工業製造品出荷額に占める食料品製造業の割合が34.9%で全国の9%と比べて大きく上回っていて、事業系食品ロス率も67%とこれも全国より大幅に上回っています。

という事は家庭系のロスの削減促進は当然ですが、事業系にかなり働きかけを行わないと目標数値を達成することはかなり厳しいということになります。

第1回の委員会でもお話しましたが、事業系はP5にありますとおり長年の商習慣、業界慣習、農水省の指導など多くの難問が山積しています。例えば賞味期限の表示では年月日となっています。これが年月になっただけでも大きく違ってきます。国、業界、得意先等との調整無しにはなかなか解決しません。連携との文言は多々ありますが、簡単ではありません。これまで以上踏み込む、より具体的な文言をお願いします。